

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	キャリア開発論		開講年次・学期	1年生 前期	担当者	太田 正美	実務経験	有
授業区分	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
<p>《授業の概要・学習目標》</p> <p>社会で求められるコミュニケーション力や課題解決能力等のヒューマンスキルを身に付け、歯科衛生士としての働き方を多面的に捉え、各自が自己のキャリアを継続的にデザインできるよう学ぶ。また、授業の中で、「私の履歴書」と題してゲストスピーカー（社会で活躍する歯科衛生士やOG）から話を聞くことにより、社会で働くことの厳しさとやりがいなどを知るとともに、自分のキャリアを考える。後半からは、1年後期より始まる「臨床実習Ⅰ（見学実習）」に向けて、実習前にできる準備や実習での心得について学ぶ。</p> <p>（到達目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学校で「学ぶ」として社会で「働く」との関係性を理解できる。</li> <li>・適切にコミュニケーションを取ることができる。</li> <li>・課題に対する自分の意見をまとめることができる。</li> <li>・グループディスカッションで得られた意見を統合して発表できる。</li> <li>・自分のキャリアデザインについて実践的に検討することができる。</li> <li>・臨床実習前に自分で課題を立てることができる。</li> </ul>								
授 業 計 画								
1	オリエンテーション / コミュニケーショントレーニング①							
2	コミュニケーショントレーニング② / 学生生活を考える							
3	自己を考える / 社会が求める人材像①							
4	社会が求める人材像②							
5	社会が求める人材像③							
6	グループ発表							
7	自分のキャリアをデザインする							
8	伝える技術							
9	コミュニケーショントレーニング③							
10	チームワークトレーニング / 臨床実習を始める前に①							
11	臨床実習を始める前に②							
12	臨床現場での心得							
13	※社会で活躍する人から話を聞く							
14	臨床実習を始める前に③ / まとめ							
15	科目試験							
成績評価方法	受講態度(10%) コメントシート(14%) 提出物・小テスト等(26%) 期末試験(50%)							
注意事項	※「社会で活躍する人から話を聞く」については、ゲストスピーカーの都合により日程の変更があり。 私語、居眠りの多い学生は室外退去とする。							
教科書								
参考書	歯科スタッフのためのケア・コミュニケーション（ウイネット） 新人歯科衛生士・デンタルスタッフ ポケットマニュアル（医歯薬出版）							

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科衛生士概論Ⅱ		開講年次・学期	3年生 後期	担当者	太田 正美	実務経験	有
授業区分	講義	時間数	15時間	単位数	1単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
<p>《授業の概要・学習目標》                  対象とする人の歯科衛生ニーズにあった支援をするために、論理的に思考し、問題発見および解決するための過程を理解する。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる</li> <li>②歯科衛生アセスメントについて説明できる</li> <li>③歯科衛生診断について説明できる</li> <li>④歯科衛生計画立案について説明できる</li> <li>⑤歯科衛生介入について説明できる</li> <li>⑥歯科衛生評価について説明できる</li> <li>⑦歯科衛生過程における書面化(記録)について説明できる</li> </ul>								
授 業 計 画								
1	歯科衛生過程の概要、歯科衛生アセスメント①							
2	歯科衛生アセスメント②							
3	歯科衛生診断①							
4	歯科衛生診断②・歯科衛生計画①							
5	歯科衛生計画②							
6	歯科衛生計画③(グループ発表)							
7	歯科衛生介入・歯科衛生評価・まとめ							
8	科目試験							
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価方法	最終試験(70%) 発表(10%) 小テスト(10%) 授業態度等(10%)							
注意事項	資料の整理のために、A4ファイルを各自購入のこと							
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)							
参考書	最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」(医歯薬出版)							

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科予防処置 I		開講年次・学期	1年生 前期	担当者	木村 優子	実務経験	有
授業区分	講義	時間数	15時間	単位数	1単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
《授業の概要・学習目標》								
<p>口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康の維持・増進させるために専門的な知識技術及び態度を習得する。</p> <p>1. 2大疾患の基礎的病態を学ぶ。</p> <p>2. 齲蝕予防処置についての専門的知識と技術、および態度を習得する目的と意義を理解するため、概要について学ぶ。</p> <p>3. 歯科予防処置としての概念と内容を理解する。</p>								
【到達目標】								
<p>1. 歯周病予防・齲蝕予防処置に関連する生活習慣病の把握・全身疾患について説明できる。</p> <p>2. 評価項目と処置について説明できる。</p>								
授 業 計 画								
1	予防処置論とは何かが理解できる(予防処置に必要な、予防的歯石除去、齲蝕予防処置が理解できる)							
2	歯・口腔の健康状態の把握(口腔の基礎知識)(歯)							
3	歯・口腔の健康状態の把握(歯周組織)							
4	齲蝕と歯周病の基礎知識①(口腔内の付着物・沈着物・プラークの形成過程・成分・分類)							
5	齲蝕と歯周病の基礎知識②口腔内の状況把握等(口腔内情報収集・唾液)							
6	齲蝕・歯周病の基礎知識③う蝕・歯周病について(パソコン室)							
7	齲蝕・歯周病の基礎知識④発表							
8	科目試験							
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価方法	出席・授業態度・参加度・小テスト・レポート等、期末試験の結果により総合評価する							
注意事項	<p>実習につながる科目であり、積み重ねが大切になってきます。疑問点等は、質問等でその都度解決し次の授業に臨んでください。</p> <p>体調管理には十分注意し、欠席をしないようにすること。</p> <p>A4ファイル・B5ファイルを準備してください。</p>							
教科書	医歯薬出版・最新歯科衛生士教本『歯科予防処置論・歯科保健指導論』							
参考書	アシスタントのためのハンドブック・歯科衛生テキスト 『口腔衛生学』							

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科予防処置Ⅱ		開講年次・学期	1年生 後期	担当者	鷹取 佐知子	実務経験	有
授業区分	演習	時間数	60時間	単位数	2単位		必修・選択の別	必修
実務経験者の概要 歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。								
《授業の概要・学習目標》  予防の概念に基づいたう蝕予防処置の種類と方法を理解し、具体的な処置法に対する理論と方法について学ぶ。臨床現場での確かな歯科保健指導を行うための基礎知識を養う。  【到達目標】 う蝕のメカニズムを理解する。 適切な齲蝕予防処置を行うことができる。 う蝕リスク検査の結果を総合して、患者の状態を説明できる。								
授 業 計 画								
1	齲蝕予防処置とは 予防とは							
2	う蝕予防処置とは 齲蝕の発生の理解							
3	唾液について 唾液量測定実習							
4	齲蝕活動性試験(RDテスト)							
5	齲蝕活動性試験(デントカルトSM / デントカルトLB)							
6	齲蝕活動性試験(プラークチェックpH)							
7	齲蝕活動性試験(CAT21 TEST)							
8	齲蝕活動性試験(CAT21 Fast / CAT21 Buff)							
9	代用甘味料について ステファンカーブの理解							
10	フッ化物の局所応用: 歯面塗布(模型実習)							
11	フッ化物の局所応用法: フッ化物歯面塗布法(相互実習)							
12	フッ化物の局所応用法: フッ化物洗口法・トレー法(相互実習)							
13	フッ化物ジアンミン銀塗布法(相互実習)							
14	小窩裂溝填塞法(相互実習)・まとめ							
15	科目試験							
成績評価方法	期末試験(70%)、レポート・提出物(10%)受講姿勢(20%)で評価する							
注意事項	授業資料の整理のため、各自A4・40枚入りクリアファイルを各自購入の事。出席・身だしなみも受講姿勢に含まれます。指示がない限り実習室・実験室に携帯電話を持ち込まないようにしてください。							
教科書	歯科衛生士のための齲蝕予防処置法(医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版株式会社)							
参考書								

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科予防処置Ⅲ		開講年次・学期	1年生 後期	担当者	木村 優子	実務経験	有
授業区分	演習	時間数	60時間	単位数	2単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
《授業の概要・学習目標》								
<p>歯周病予防・治療のために、口腔内の状況を把握し情報収集を行うことが重要です。正常な歯周組織、歯周病の基礎知識、必要機材とその取扱い、専門器具を使用し知識・技術を習得します。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯面清掃の意義が説明できる</li> <li>2. 歯面研磨・歯面清掃方法を選択し、実施できる</li> <li>3. 「知識」歯周組織検査と各種使用器具の特徴を理解する</li> <li>4. 超音波スケーラー・エアスケーラーの使用方法を説明し、実施できる</li> <li>5. 「基本的技術能力」器具を操作し歯周組織検査と記録が確実にできる</li> <li>6. 「自主性」主体的に実習に取り組むことができる</li> </ol>								
授 業 計 画								
1	口腔内診査・触診・ミラー操作・探針操作・動揺度・コンタクト(顎模型使用)							
2	口腔内診査・触診・ミラー操作・探針操作・動揺度・コンタクト 相互実習(実技チェック)							
3	歯・歯周組織の検査① プロービング(プロービングに使用する器具と特徴)顎模型使用							
4	歯・歯周組織の検査② ポケットの測定(付着歯肉の幅の測定/アタッチメントレベル) (実技チェック)							
5	歯・歯周組織の検査④(歯の動揺度・歯肉出血・付着歯肉の幅 アタッチメントレベル)							
6	超音波・エアスケーラーの取り扱い① 基礎知識・原理・構成・基本操作など							
7	特別セミナー 超音波スケーラー実習							
8	超音波・エアスケーラーの取り扱い②							
9	超音波・エアスケーラーの取り扱い③ 相互実習							
10	口腔内洗浄・インシデント・アクシデント							
11	歯周組織検査実技チェック 顎模型							
12	歯面研磨剤用機材・歯面清掃器① 歯面研磨の基礎を習得 顎模型使用							
13	歯面研磨剤用機材・歯面清掃器② エアフロー相互実習							
14	歯面研磨剤用機材・歯面清掃器③ 特別セミナー株式会社ヨシダ							
15	まとめ (1コマ) 1年生教室							
16	科目試験							
成績評価方法	全出席(5%)・授業態度・参加度・小テスト・レポート、実習に対する態度(10%)実技チェック・練習(5%)期末試験(80%)の結果により総合評価する。							
注意事項	臨床における知識・技術を習得するため、欠席をしないようにすること。復習と自主トレーニングを通じて、確実に技術を身につけることが重要です。疑問点等は、質問等でその都度解決し次の授業に臨んでください。							
教科書	医歯薬出版・最新歯科衛生士教本『歯科予防処置論・歯科保健指導論』							
参考書	アシスタントのためのハンドブック 歯周治療レッスンブック 歯周病学							

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科予防処置Ⅳ		開講年次・学期	2年生 後期	担当者	木村優子	実務経験	有
授業区分	実習	時間数	45時間	単位数	1単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
《授業の概要・学習目標》								
<p>歯周病予防処置Ⅲに続いた実習科目である。歯周病の予防・治療の専門技術であるマネキン実習で身につけた手用スケーラーによる歯石除去技術を、実際に人の口腔内で応用する。手用スケーラーの中でも主としてキュレットスケーラーを用いて歯石除去技術を相互で体験し修得する。歯肉内に鋭利な器具を使用するため、確実な操作が必要であり、一定以上の知識・技術レベルが要求される。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「知識・思考力」歯科予防処置の概要を知り、歯石除去の目的を理解する</li> <li>2. 「基本的技術能力」歯石除去の使用器具を理解し、模型上で訓練・歯石除去を実習する</li> <li>3. 「基本的技術能力」シャープニング法を理解し、手用スケーラーのシャープニングのテクニックを身につける</li> <li>4. 知識・技術を実践することができる</li> <li>5. 「自主性」歯周病予防の技術習得のために、積極的に実習に取り組む</li> </ol>								
1	歯の形態を復習しよう 手用スケーラーについて(手用スケーラーの構成・把持法・使用原則)							
2	シククルタイプスケーラー 顎模型 (実技チェック)							
3	シククルタイプスケーラー 相互実習							
4	ヨシダ特別セミナー							
5	手用スケーラーの種類と特徴(キュレット) #5/6							
6	スケーラー操作(キュレット) #5/6 #7/8							
7	スケーラー操作(キュレット)AB合同 3限 実験室 #13/14 4限実習室つまようじ法							
8	シャープニング 歯科衛生士実施内容と保険診療							
9	シャープニング特別セミナー ヒューフレディジャパン AB合同							
10	初診患者を想定した相互実習							
11	スケーラー操作(キュレット) #7/8 #13/14 (実技チェック)							
12	インストゥルメント セミナー GC AB合同							
13	スケーラー操作(キュレット) #1~ #14							
14	実技試験・まとめ							
15	科目試験							
成績評価方法	(出席・授業態度・参加度・小テスト・レポート等)期末試験の結果により総合評価する 項目と割合: 定期試験(筆記60%) 実技試験 (35%) その他(5%)							
注意事項	すべての実習がその後の実習に続きます。体調管理には、十分気を付けること。 復習と自主トレーニングを通じて確実に身につけることが重要です。 疑問点等は、質問等でその都度解決し次の授業に臨んでください。							
教科書	医歯薬出版・最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』							
参考書	医歯薬出版・最新歯科衛生士教本 『歯周疾患・歯周治療』							

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科保健指導 I		開講年次・学期	1年生 前期	担当者	鷹取 佐知子	実務経験	有
授業区分	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
<p>《授業の概要・学習目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科保健指導の概要を知り、歯科保健指導業務に必要な基礎知識を習得する</li> <li>またライフステージにおける歯科衛生活動を知り、専門職としての口腔保健管理能力を養う</li> </ul> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科保健活動の目的・意義健康が説明できる。</li> <li>・健康の概念が説明できる</li> <li>・口腔の基礎知識を知る</li> <li>・各ライフステージにおける口腔の特徴・歯科保健について説明できる</li> <li>・対象者の口腔、生活習慣、口腔清掃状態の情報を収集し問題点を抽出して説明できる</li> </ul>								
授 業 計 画								
1	歯科保健活動の目的と歯科衛生士の社会的役割 歯科保健活動の内容と特徴							
2	保健行動の理論							
3	健康の概念							
4	ライフサイクル別対象把握(妊産婦期)							
5	ライフサイクル別対象把握(新生児・乳幼児)							
6	ライフサイクル別対象把握(幼児期)							
7	ライフサイクル別対象把握(学齢期)							
8	ライフサイクル別対象把握(青年期)							
9	ライフサイクル別対象把握(成人期)							
10	ライフサイクル別対象把握(老年期)							
11	ライフサイクル別対象把握(要介護高齢者)							
12	ライフサイクル別対象把握(特殊患者)							
13	対象別症例検討(グループワーク)							
14	対象別症例検討(発表):まとめ							
15	科目試験							
成績評価方法	期末試験(70%)、レポート・提出物(15%)、受講姿勢(15%)で評価する。							
注意事項	授業資料の整理のため、各自A4・40枚入りクリアファイルを各自購入の事 13回目と14回目はUSBが必要です。各自で準備しておいてください。							
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置・歯科保健指導論 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 保健生態学 (医歯薬出版株式会社)							
参考書								

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科保健指導Ⅱ		開講年次・学期	1年生 前期	担当者	鷹取 佐知子	実務経験	有
授業区分	実習	時間数	45時間	単位数	1単位		必修・選択の別	必修
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
<p>《授業の概要・学習目標》                  口腔内を正確に観察し、適切なセルフケアができるように口腔清掃状態の評価方法、歯周疾患の評価方法、機械的ブラークコントロールの方法と技術、化学的ブラークコントロールの方法について教授する。</p> <p>〈到達目標〉                  ・患者様の口腔内に適した口腔清掃用具の選択ができる。                  ・患者様の口腔内の状況を正しく評価できる。                  ・口腔内の状況に適したブラッシング指導を行えるようになる。</p>								
授 業 計 画								
1	校内実習のオリエンテーション 物品配布・使用方法説明							
2	口腔内の用語・口腔内観察・スケッチ							
3	ブラッシング実習【ファントム】毛先							
4	ブラッシング実習【ファントム】わきばら・補助的清掃器具							
5	ブラッシング実習【相互実習】毛先							
6	ブラッシング実習【相互実習】わきばら・補助的清掃器具							
7	歯垢染色剤の種類と用途							
8	歯垢・歯石の指数①（O'LearyのPCR）							
9	歯垢・歯石の指数②（OHI,OHI-S）							
10	歯垢・歯石の指数③（PQI・PHP）							
11	実技試験							
12	歯周疾患の指数①（PMA Index）							
13	歯周疾患の指数②（CPI）							
14	歯磨剤研究 歯磨剤作成							
15	科目試験							
成績評価方法	期末試験(65%)・実技試験(20%)レポート・出席・受講姿勢(15%)を総合して最終評価します。							
注意事項	授業資料の整理のため、ファイルを各自購入の事 予習・復習をしっかりすること。 相互実習なので欠席すると他の人に迷惑がかかります。体調管理をしっかりしましょう。							
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置・歯科保健指導論（医歯薬出版株式会社）							
参考書								



インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科保健指導Ⅲ		開講年次・学期	2年生 前期	担当者	太田正美 小野加寿未	実務経験	有
授業区分	実習	時間数	45時間	単位数	1単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
<p>《授業の概要・学習目標》</p> <p>歯科健康教育の場には、保健所、市町村保健センター、保育所、幼稚園、学校、事業所、介護保健施設がある。この授業では、主に保育所、幼稚園、小学校を対象とした歯科健康教育の指導計画の立案および教育教材作成のための基礎知識・技術を習得する。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、幼稚園に入所する乳幼児の口腔保健の実態が把握できる</li> <li>・保育所、幼稚園に入所する乳幼児を対象とした歯科健康教育ができる</li> <li>・小学校の生徒(学年別)の口腔保健の実態が把握できる</li> <li>・小学校の生徒(学年別)を対象とした歯科健康教育ができる</li> </ul>								
授 業 計 画								
1	オリエンテーション(グループ割り含む) 学校歯科保健活動の目的と内容							
2	指導計画の立て方、教育教材・媒体について							
3	指導計画・教育教材・媒体作成計画書作成①							
4	指導計画・教育教材・媒体作成計画書作成②							
5	指導計画の発表 指導計画の修正							
6	原稿・教育教材・媒体作成①							
7	原稿・教育教材・媒体作成②							
8	原稿・教育教材・媒体作成③							
9	原稿・教育教材・媒体作成④							
10	原稿・教育教材・媒体作成⑤							
11	リハーサル①							
12	原稿・教育教材・媒体の修正①							
13	リハーサル②							
14	原稿・教育教材・媒体の修正② 作品・原稿提出							
15	科目試験							
成績評価方法	受講姿勢(15%) 発表(15%) 教材作品(30%) 期末試験(40%)							
注意事項	グループワークの際、各自の役割に責任を持った行動をとること 授業ノート整理のため、A4クリアファイルを各自購入のこと							
教科書								
参考書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置・歯科保健指導」 最新歯科衛生士教本「保健生態学」							

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校2021

授業科目名	歯科保健指導Ⅳ		開講年次・学期	3年生 後期	担当者	鷹取 佐知子	実務経験	有
授業区分	実習	時間数	45時間	単位数	1単位		必修・選択の別	必修
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
《授業の概要・学習目標》								
<p>歯科衛生士として保健指導をするにあたり、患者の生活状況や全身状態を把握することは非常に重要である。ライフステージごとの問題点や有病者の疾患の特徴や配慮点に注意し、口腔内だけでなく、全身の健康増進について考え、生活習慣や栄養についても指導ができるような歯科衛生士が求められてる。本実習を通じ、患者のライフステージごとの特徴や疾患に対する知識を深め、患者一人ひとりにより実践的な保健指導が行えるようになってもらいたい。</p>								
〈到達目標〉								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者様の全身状態の把握ができる。</li> <li>・口腔内の状況と全身疾患の関連を説明できる。</li> <li>・口腔機能に合わせた調理法を実践できる。</li> <li>・対象を正しく理解し、伝えたい内容を分かりやすくまとめられる。</li> <li>・グループワークにおいて他者の意見を受け入れ、自分の意見も積極的に述べることができる。</li> </ul>								
授 業 計 画								
1	妊産婦・乳児への保健指導案・媒体の作成 ①							
2	妊産婦・乳児への保健指導案・媒体の作成 ②							
3	妊産婦・乳児への保健指導実習（発表）							
4	調理実習「離乳食」							
5	青年期への保健指導案・媒体の作成 ①							
6	青年期への保健指導案・媒体の作成 ②							
7	青年期への保健指導案・媒体の作成 ③							
8	青年期への保健指導実習（発表）							
9	特別講義							
10	調理実習「歯に良いおやつ」							
11	高齢者への保健指導実習案・媒体の作成 ①							
12	特別講義							
13	高齢者への保健指導実習案・媒体の作成 ②							
14	高齢者への保健指導実習（発表）							
15	調理実習「介護食」							
成績評価方法	出席率・授業への積極性・授業態度・発表内容・提出物等で総合的に評価する。 筆記試験は実施しない。							
注意事項	自分で調べてまとめる形式の授業です。事前準備・予習が必須です。 シラバスをみて必要資料は自分で持参してください。 調理実習の時は エプロン・三角巾・マスクを準備すること。 毎回USBが必要です。							
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論							
参考書	授業日までに各自で必要な資料を収集しておくこと。□							

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校2021

授業科目名	歯科診療補助 I		開講年次・学期	1年生 前期	担当者	小坂田 良巳	実務経験	有
授業区分	演習	時間数	60時間	単位数	2単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要 歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。								
《授業の概要・学習目標》								
<p>歯科診療補助は臨床の中で大きなウェイトを占める。この科目では、歯科診療補助を行うにあたっての全般的な知識・技術を理解し、術者との共同動作や対面行為の実際について習得させる。</p> <p>また歯科診療の補助・介助業務を円滑にこなしていくためには、技術面はもちろんのこと、診療環境の整備、器材の管理などを的確に処理する必要がある。特に安全な医療を提供するためには、医療事故の防止に努めていかななくてはならない。そこで、この科目では、これらの業務に必要な基礎知識を学び、理解を深めて、歯科診療補助の実践に役立つことをねらいとしている。</p>								
【到達目標】								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全と感染予防について理解し、実施することができる</li> <li>・共同動作の概念を理解し、実施することができる</li> </ul>								
授 業 計 画								
1	医療人としての心構え・歯科診療補助の概念							
2	医療安全と感染予防① 感染予防(手指消毒・滅菌と消毒)							
3	歯科診療における基礎知識① 歯科用チェアユニット(準備・片付け)							
4	歯科診療における基礎知識② 共同動作(術者・補助者・患者のポジショニング)							
5	医療安全と感染予防② 医療安全・医療廃棄物の取扱い							
6	歯科診療における基礎知識③ 歯科診療室の基礎知識							
7	歯科診療における基礎知識④ 衛生材料の作成							
8	歯科診療における基礎知識⑤ 共同動作(器具の名称・器具の受け渡し)							
9	歯科診療における基礎知識⑥ 共同動作(バキュームテクニック)マネキン実習							
10	歯科診療における基礎知識⑦ 共同動作(バキュームテクニック)相互実習							
11	歯科診療における基礎知識⑧ 共同動作(スリーウェイシリンジテクニック)マネキン実習							
12	歯科診療における基礎知識⑨ 共同動作(スリーウェイシリンジテクニック)相互実習							
13	歯科診療における基礎知識⑩ 共同動作(まとめ)							
14	実技試験 バキュームテクニック							
15	科目試験							
成績評価方法	出席、授業態度、参加度、小テスト、レポート、実技試験、期末試験の結果より総合評価をする。							
注意事項	内容が多岐にわたるため、その都度復習をして知識を確実にすること。 自己の健康管理に気を付け、欠席しないこと。							
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 最新歯科衛生士教本「歯科機器」							
参考書								

授業科目名	歯科診療補助Ⅱ		開講年次・学期	1年生 後期	担当者	太田 正美 小野 加寿未	実務経験	有
授業区分	実習	時間数	45時間	単位数	1単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
《授業の概要・学習目標》								
一般目標								
歯科診療の補助に対応するために、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。								
到達目標								
① 模型用材料の種類と基本的性質を説明でき、取り扱いができる。								
② 合着・接着材の種類と基本的性質を説明でき、取り扱いができる。								
③ 印象材の種類と基本的性質を説明でき、各種印象材を練和できる。また、概形印象採得ができる。								
④ 仮封材の種類と基本的性質を説明でき、取り扱いができる。								
⑤ ワックスの種類と基本的性質を説明でき、取り扱いができる。								
授 業 計 画								
1	授業ガイダンス／各種セメントの取り扱い①							
2	印象材の取り扱い①(アルジネート)							
3	仮封材の取り扱い／実技試験①ガイダンス							
4	実技試験①(セメントの取り扱い)							
5	石こうの取り扱い							
6	印象材の取り扱い②(寒天)／実技試験②ガイダンス							
7	印象材の取り扱い③(ゴム質印象材)／各種セメントの取り扱い② ※GC材料セミナー							
8	実技試験②(印象採得)							
9	印象採得実習①							
10	印象採得実習②／ワックスの取り扱い(咬合採得実習含む)							
11	スタディーモデルの作製①(台付け)							
12	スタディーモデルの作製②(トリミング)							
13	スタディーモデルの作製③(仕上げ)							
14	まとめ・期末試験について							
15	科目試験・作品提出							
成績評価方法	授業態度・小テスト・レポート等(25%) 実技試験(15%) 作品(10%) 期末試験(50%)							
注意事項	授業ノート整理のため、A4サイズのファイルを各自購入してください。							
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論 第2版」(医歯薬出版)							
参考書	最新歯科衛生士教本「歯科材料」(医歯薬出版)							

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校シラバス2021

授業科目名	歯科診療補助Ⅲ		開講年次・学期	2年生 前期	担当者	小坂田 良巳	実務経験	有
授業区分	実習	時間数	45時間	単位数	1単位	必修・選択の別	必修	
実務経験者の概要	歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。							
《授業の概要・学習目標》								
<p>歯科診療補助は臨床の中で大きなウェイトを占める。この科目では、歯科診療補助を行うにあたり各治療の特徴を把握したうえで診療の手順やその際に使用する器材、診療補助のポイントについて習得することを目標としている。また、知識・技術を理解し、術者との共同動作や対面行為の実践に役立つことをねらいとしている。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各治療の特徴を説明できる</li> <li>各治療の手順に沿った器材が理解できる</li> </ul>								
授 業 計 画								
1	1年次のまとめ、薬品(薬物)・歯科材料の管理							
2	共同動作(フォーハンドテクニック)							
3	保存修復時の診療補助1							
4	保存修復時の診療補助2							
5	歯内療法時の診療補助1							
6	歯内療法時の診療補助2							
7	歯周外科治療時の診療補助1							
8	歯周外科治療時の診療補助2							
9	補綴治療時の診療補助1							
10	補綴治療時の診療補助2							
11	口腔外科治療時の診療補助1							
12	口腔外科治療時の診療補助2							
13	歯科麻酔時の診療補助							
14	まとめ							
15	科目試験							
成績評価方法	出席、授業態度、参加度、小テスト、レポート、実技試験、期末試験の結果より総合評価をする。							
注意事項	内容が多岐にわたるため、その都度復習をして知識を確実にすること。 自己の健康管理に気を付け、欠席しないこと。							
教科書	各科目のテキスト 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 最新歯科衛生士教本「歯科機器」							
参考書								

インターナショナル岡山歯科衛生専門学校2021

授業科目名	歯科診療補助Ⅳ		開講年次・学期	2年生 後期	担当者	小坂田 良巳	実務経験	有
授業区分	実習	時間数	45時間	単位数	1単位		必修・選択の別	必修
<b>実務経験者の概要</b> 歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。								
<b>《授業の概要・学習目標》</b> 歯科臨床の現場では、チェアサイドでの専門性の高い診療補助が求められる。 この科目では、歯科診療内容ごとの必要器材を治療手順に沿って準備し、スムーズな診療補助を行うことで診療の効率化につながる役割を担うことをねらいとしている。 また、全身疾患の基礎知識と患者への対応や、周術期における歯科診療時の役割、歯科訪問診療における対応について習得する。								
<b>【到達目標】</b> ・各治療の手順に沿った器材を準備することができる ・各治療の手順に沿った診療補助が行うことができる ・各疾患の概要や口腔内所見の特徴と診療での注意点を説明できる ・周術期における歯科診療時の役割を説明できる ・歯科訪問治療における対応について説明できる								
授 業 計 画								
1	歯科診療補助Ⅰ～Ⅲのまとめ							
2	医療安全と感染予防							
3	歯科診療における基礎知識(薬品・歯科材料の管理)							
4	保存修復における歯科衛生士の役割							
5	歯内療法における歯科衛生士の役割							
6	歯周治療における歯科衛生士の役割							
7	補綴歯科治療における歯科衛生士の役割							
8	口腔外科・歯科麻酔の臨床における歯科衛生士のかかわり							
9	矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割							
10	小児歯科診療における歯科衛生士の役割							
11	主な全身疾患とその対応							
12	周術期における歯科診療の補助							
13	歯科訪問診療における対応							
14	まとめ							
15	科目試験							
成績評価方法	出席、授業態度、参加度、小テスト、レポート、実技試験、期末試験の結果より総合評価をする。							
注意事項	内容が多岐にわたるため、その都度復習をして知識を確実にすること。 自己の健康管理に気を付け、欠席しないこと。							
教科書	各科目のテキスト 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 最新歯科衛生士教本「歯科機器」							
参考書								